

2022年度_環境経営レポート

発行日_2023.7.31

対象期間_第40期_2022.4.1-2023.3.31



株式会社総合土木コンサルタンツ



Table of contents

【 PLAN 】

1. 組織概要_P3-6
2. 環境経営方針_P7

【 DO 】

3. 実施体制と役割分担_P8-9
4. 環境活動状況
 - 4-1. 社内環境活動状況_P10-13
 - 4-2. 地域環境活動状況_P14-15

5. 当年度及び中期環境経営目標_P16
6. 環境経営計画_P17

【 CHECK 】

7. 環境活動の取組結果・評価_P18-21
8. 環境関連法規などの遵守状況_P22
9. 環境活動の実績
 - 9-1. 環境経営目標の達成状況_P23
 - 9-2. 環境経営計画の達成状況_P24

【 ACT 】

10. 代表者による全体評価と見直し結果_P25
11. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画
 - 11-1. 次年度環境経営目標_P26
 - 11-2. 次年度環境経営計画_P27



PLAN

1. 組織の概要

事業所名 株式会社総合土木コンサルタンツ

代表者氏名 代表取締役 佐々木 知徳

所在地

本社 〒021-0902 岩手県一関市萩荘字金ヶ崎3番地1
TEL_0191-24-2487 FAX_0191-24-3334 URL_https://www.sogodoboku.co.jp e-mail_sogo@sogodoboku.co.jp

盛岡営業所 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ4-4-20
TEL_019-646-9933 FAX_019-646-9911

奥州営業所 〒023-0841 岩手県奥州市水沢真城字中道1番地3-2-406
TEL_0197-22-3900 FAX_0197-48-0197

北上営業所 〒024-0021 岩手県北上市上野町4丁目13-30
TEL_0197-61-4161 FAX_0197-61-4162

遠野営業所 〒028-0521 岩手県遠野市材木町1-29
TEL_0198-60-2025 FAX_0198-78-0032

東磐営業所 〒029-0801 岩手県一関市千厩町清田字鳥喰44-2
TEL・FAX_0191-52-4160

釜石営業所 〒026-0055 岩手県釜石市甲子町第5地割14-1-1-502
TEL_0193-27-8865 FAX_0193-27-8866

大船渡営業所 〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字赤沢85-1-406
TEL_0192-47-3936 FAX_0192-47-3966

宮古営業所 〒027-0203 岩手県宮古市津軽石第13地割469-B
TEL_0193-77-3970 FAX_0193-77-3980

久慈営業所 〒028-0041 岩手県久慈市長内町第21地割66-2-307
TEL_0194-66-8122 FAX_0194-66-8123

二戸営業所 〒028-5312 岩手県二戸郡一戸町一戸字北館117-22
TEL_0195-26-9700 FAX_0195-26-9701

宮城営業所 〒989-5144 宮城県栗原市金成中町41
TEL_0228-57-4231 FAX_0228-57-4322



PLAN

1. 組織の概要

環境責任者及びE A21事務局

環境責任者 黒墨

E A21事務局 小宮

事業規模

設立年月日 1983年4月27日

資本金 20,000,000円

従業員数 26名

事業年度 4月1日～翌年3月31日

事業内容【登録】

建設コンサルタント_(河川、砂防及び海岸・海洋部門、道路部門)_ 建01 第6619号

補償コンサルタント(土地調査部門, 物件部門, 営業補償・特殊補償部門, 事業損失部門, 補償関連部門) 補04第4132号

測量業者_第(9) -13831号

地質調査業者_質30 第2124号

認証登録範囲

登録対象の範囲 株式会社総合土木コンサルタンツ全組織・全活動

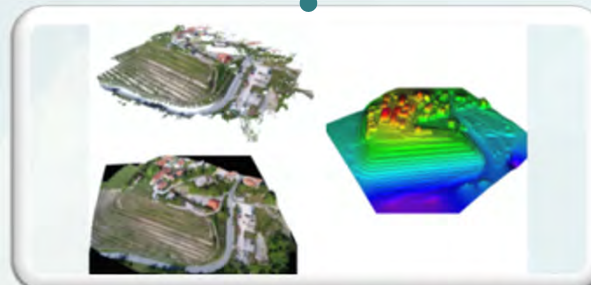


株式会社総合土木コンサルタンツ



土木設計

- 道路設計、避難路設計
- 河川および砂防
- 斜面防災, 道路防災
- 農業土木設計
- 開発行為許可申請
- 災害関連



測量調査・用地補償

- 地上測量全般及び各種台帳作成
- 高精度レーザードローンによる三次元測量
- 土地調査部門, 物件部門, 事業損失部門
- 営業補償・特殊補償部門, 補償関連部門



土質・地質調査

- 地質調査
- 物理探査
- 地すべり調査
- 地下水調査
- 土質試験



株式会社総合土木コンサルタンツ

Business Strategy.

経営理念 ●

人を育て、社員・会社の成長を追求し、豊かな地域社会の実現に貢献する

基本方針 ●

- 【商品】期待に応える質の高い技術を提供します
- 【お客様】お客様に信頼される関係を構築します
- 【社員】社員の人間力向上を支援します
- 【会社】働きがいと誇りを持てる環境を提供します
- 【地域・社会】優良企業として存在感を高めます

行動理念 ●

- 【商品】お客様の期待に応える質の高い技術力の保有を目指します
- 【お客様】常にお客様目線で行動します
- 【社員】常に成長意欲をもって新しいことへチャレンジします
- 【会社】常に働きやすい環境への改善と維持に取り組みます
- 【地域・社会】常に地域とコミュニケーションをとり理念や情報を発信します

人事理念 ●

自律型価値創造人財を育成します





PLAN

2. 環境経営方針

環境経営理念

株式会社総合土木コンサルタンツは社会・環境貢献活動に積極的に取り組み
事業活動において環境に与える影響を的確に捉え、地球環境の保全と環境負荷の低減に取り組みます。

行動指針

- 環境目標を定め、よりよい環境水準を目指すため、必要に応じて見直しを図りながら環境経営システムの継続的改善を図ります
 - • 二酸化炭素排出量の削減に努める
 - • • 電気使用量の削減を行う
 - • • 化石燃料（ガソリン）使用量の削減を行う
 - • 廃棄物の削減・再利用・再資源化に努める
 - • 水道使用量を削減に努める
 - • 環境に配慮した工法の提案に努める
- 環境関連法令等を遵守します
- 環境活動に積極的に参加し、豊かな地域社会の実現に貢献します
- 環境への取り組みを全社員に周知し、意識向上を図ります
- 常に地域とコミュニケーションをとり理念や情報を発信します



制定 2021年4月1日

改定 2022年4月1日

株式会社総合土木コンサルタンツ

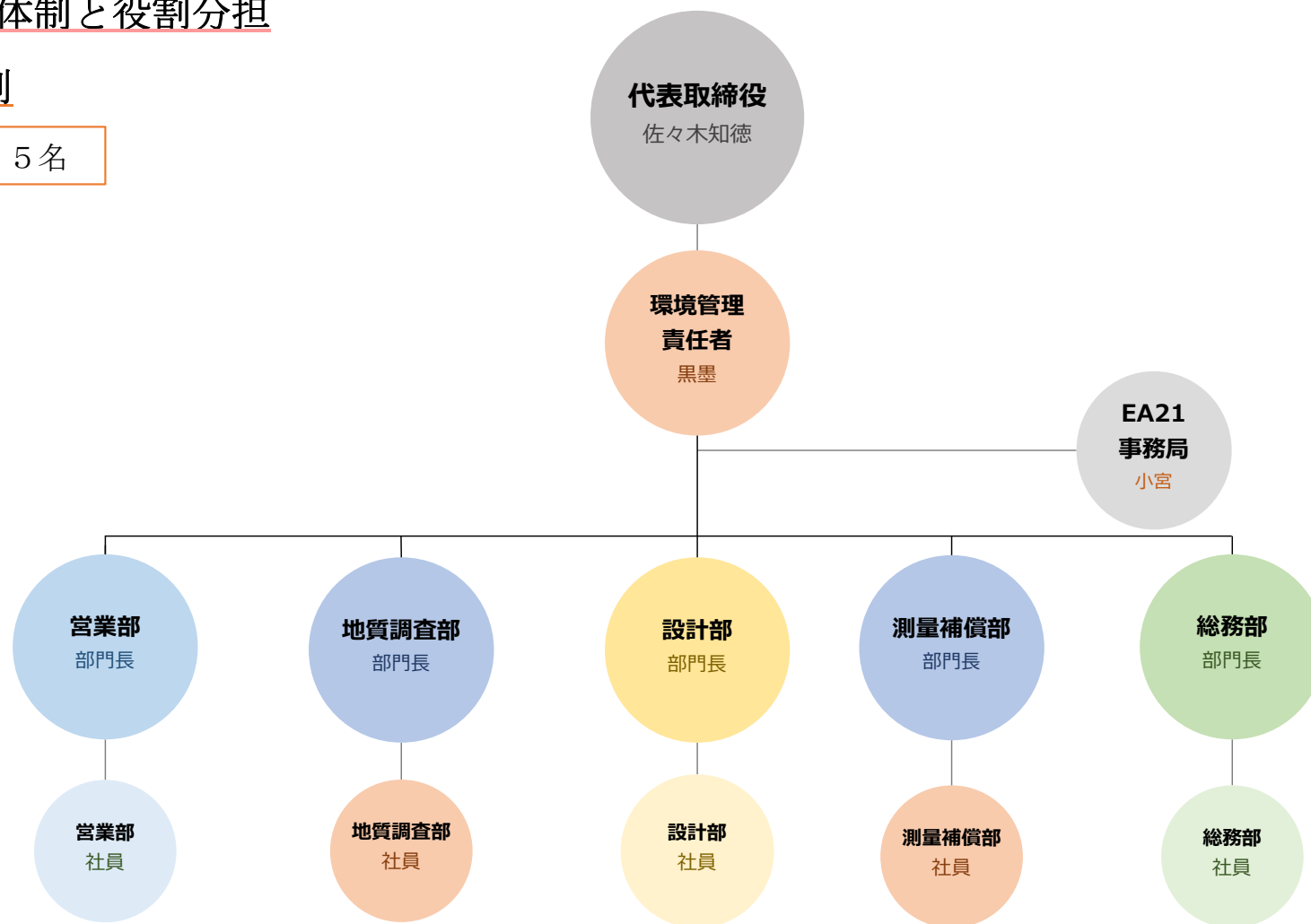
佐々木 知徳

【 DO 】

3. 実施体制と役割分担

実施体制

総員 25 名



盛岡営業所、奥州営業所、北上営業所、遠野営業所、東磐営業所、釜石営業所
大船渡営業所、宮古営業所、久慈営業所、二戸営業所、宮城営業所

役割分担

責任者	役割・権限	
代表取締役	経営における課題とチャンスを確認にする	環境経営方針の策定及び見直し周知徹底
	環境経営システムに必要な資源の準備	環境経営システムに関する実施体制を構築
	代表者による全体の評価と見直し・指示を実施	環境経営目標・環境経営計画書を承認
環境管理責任者	環境経営目標・環境経営計画書の確認	環境関連法等の取りまとめ表を承認
	環境活動の取組結果を代表取締役へ報告	緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括
	環境マネジメントシステムの全体の評価	環境経営レポートの確認
EA21事務局	環境経営目標、環境経営計画書原案の作成	環境負荷の自己チェック及び環境活動の実績集計
	環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施	環境関連法規等取りまとめ表の作成
	環境経営レポートの作成、公開（地域事務局への送付と自社HP掲載）	
部門長	自部門へ環境経営目標の周知	自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	自部門の想定される事故及び緊急事態への試行・訓練を実施、記録の作成	外部・内部（苦情・要望等）コミュニケーション窓口
	自部門の問題点の発見、是正・予防処置の実施	
全社員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚	決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
協力会社	環境経営方針の理解と環境経営への積極的参加	



DO

4. 環境活動状況

4-1 社内の環境活動状況

循環型社会と3R

「できるだけゴミを出さない！」

「出したゴミのリサイクルの強化！」

「可燃ごみの削減！」

3つの柱を立て、社員一人一人がごみの分別に気を配り、廃棄物保管場所において保管し、定期的排出しています。



6 安全な水とトイレを世界中に



12 つくる責任 つかう責任



循環型社会と3R

3R

3R

3R
循環型社会と3R

R

Reduce
発生制御

R

Reuse
再利用

R

Recycle
再生利用





DO



- 1 貧困をなくそう

- 3 すべての人に健康と福祉を

- 5 ジェンダー平等を実現しよう

- 8 働きがいも経済成長も

- 10 人や国の不平等をなくそう

- 12 つくる責任 つかう責任

- 13 気候変動に具体的な対策を

- 16 平和と公正をすべての人に

- 17 パートナリシップで目標を達成しよう




次の誰かの役に立つ

弊社では、リニューアルになった作業服の在庫や、社員より回収した着古した作業服・事務服を誰かに役立ててもらいたいと思い、カンボジアや開発途上国を中心に衣類等を輸出、現地で再利用を実施している「古着deワクチン」を活用

ポリオワクチンを贈ることができる

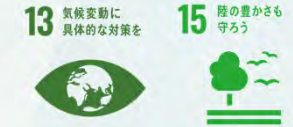
「古着deワクチン」を注文するだけで、認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会を通じて開発途上国の子どもたちにポリオワクチンが届けられ、一口につき5人の命を救うことができます。





DO

カーボンオフセット 低炭素社会支援活動



令和4年12月14日から令和5年4月10日までに岩手県県有林 J-クレジットを累計10トン以上購入した企業へ岩手県知事より記念盾が贈呈されました

令和4年4月1日から令和5年3月31日までに CO2排出量を累計8 t オフセット致しました

2022/12/06

岩手県県南広域振興局発注の業務

「中山間地域総合整備事業愛宕地区第15号用地測量業務委託」において2t オフセット

2023/2/20

岩手県県南広域振興局発注の業務

「主要地方道一関北上線長島地区用地測量業務委託」において2t オフセット

2023/2/20

岩手県盛岡広域振興局発注の業務

「農地整備事業（経営体育成型）戸沢地区第1号測量業務委託」において2t オフセット

2023/2/20

岩手県県南広域振興局発注の業務

「経営体育成基盤整備事業新山南地区第3号一定区域測量業務委託」において2t オフセット



電子帳 録 12212000035
(口座番号: JP-100-20000-00001-00085-00) 2023年12月06日
(特定排出者コード: 990300004)
(特定事業者番号: 0045221)

クレジット制度管理者

気候変動通知
J-クレジット制度実施要領より、2に基づき無効化申請の結果として、下記のとおり、J-クレジット登録簿システムに掲載したので、お知らせします。

記

トランザクション番号	JP-20000-00000-04136
口座種別	J-クレジット用 無効化口座
口座番号	JP-100-20000-00000-00400-00
発着日	2023年12月06日

クレジット情報

項目	種別	クレジット特定番号		
		数量 (t-CO ₂ e)	省エネルギー一般 (E: 省エネルギー (電力・熱))	再生エネルギー (熱・E)
1	J200	2004107: 岩手県森林林における森林吸収量取引プロジェクト		
			2C-600-000-001-169-412 ~ 2C-600-000-001-169-413	
	合計			

注: 以上

【用途】
自己活動
クレジット利用法人・利用期間:
株式会社総合土木コンサルタンツ
令和4年度
【目的詳細】
株式会社総合土木コンサルタンツが令和4年度の持主である地域整備特許業務の「中山間地域総合整備事業愛宕地区第15号用地測量業務委託」においてCO₂排出量の一部をオフセットするため。



DO

救命救急講習の実施

令和4年5月 一関市西消防署において「救命救急講習」を全社員で受講いたしました





DO

4. 環境活動状況

4-2 地域環境活動状況

外部からの苦情

今期の活動における外部からの環境に関する苦情等はありませんでした。

令和4年4月22日

親睦会主催で社屋から旧社屋周辺の環境整備を行いました
毎年ごみ拾いや、社屋周辺の草刈りなどを行っております

13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう





DO

- 6 安全な水とトイレ
を世界中に
- 11 住み続けられる
まちづくりを
- 12 つくる責任
つかう責任
- 13 気候変動に
具体的な対策を
- 14 海の豊かさを
守ろう

🚗 御所湖の清流を守る会 🚗

毎年春と秋の2回実施している御所湖の清流を守る会に参加させていただきました。

清掃活動の範囲は、御所ダム及びダム湖流域といった川の上流部に限定された活動であります。今回の清掃活動では「海ごみゼロ運動」の一環として開催されたことで、川と海のつながりを意識したり、川ごみを拾うことで「海ごみゼロ」にも貢献するといった活動の意義が、これまで思っていた以上に広がっていることを認識するきっかけになりました。

今後も機会があれば、川と海の水環境に貢献する活動をしていきたいと思えます。



2022/06/05



2022/10/02

【 PLAN 】

5. 2022年度及び中長期環境経営目標

項目	単位	基準年度実績		中期目標（3年）					
		2020.4.1～2021.3.31		2021.4.1～2022.3.31 基準年比 1% 削減		2022.4.1～2023.3.31 基準年比 2% 削減		2023.4.1～2024.3.31 基準年比 3% 削減	
		実績	CO2排出量	CO2排出量	CO2排出量	CO2排出量	CO2排出量		
二酸化炭素排出量の削減	CO2 総排出量		71,342	70,629	69,915	69,202			
	電力1_東北電力	kwh	22,323.0	11,787	11,669	11,551	11,433		
	電力2_低圧_東北電力	kwh	44,642.0	23,571	23,335	23,100	22,864		
	電力3_盛岡_東北電力	kwh	2,663.0	1,406	1,392	1,378	1,364		
	ガソリン	L	14,581.2	33,828	33,490	33,152	32,813		
	軽油	L	0.0	0	0	0	0		
	灯油	L	184.1	458	454	449	445		
液化石油ガス(LPG)	kg	97.3	292	289	286	283			
再利用・再資源化	可燃物	kg	120.0	118.8	117.6	116.4			
	リサイクル	kg	780.0	※1	※1	※1			
	産業廃棄物総排出量	kg	200.0	198.0	196.0	194.0			
	中間処理量	kg	0.0	-	-	-			
	うち再資源化量	kg	0.0	-	-	-			
最終処分(埋立)量	kg	200.0	-	-	-				
水削減	水使用量	m ³	189.0	187.1	185.2	183.3			
自らのサビビ	環境配慮	-	環境効果の高い資材や工法の情報収集を積極的に行い、エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案を行う						
	会社周辺の清掃	1回/月	社屋周辺の清掃を行う						
	地域貢献活動	2回/年	ダム周辺の清掃や植樹など地域活動に参加する						
管理	フロン点検	4回/年	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン(株)に依頼						
	消防設備点検	2回/年	※ 有資格者による総合・定期点検_年2回_㈱アイデンに依頼 (総合点検_年1回実施後、報告書を消防署へ提出)						

※1 リサイクル排出量(廃紙、シュレッダー、ダンボール、雑誌、新聞、空き缶)に関しては目標を定めないのであるとする

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、環境省公表の令和2年東北電力0.528(kg-CO2/kwh)実績にて算出

【 PLAN 】

6. 環境経営計画

取組目標	活動内容	活動計画				定期的な評価(上半期/全期間)	担当
		4~6	7~9	10~12	1~3		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量 エアコンの設定温度管理_夏季28℃, 冬季20℃ サーキュレータを効果的に活用し空気循環 LED照明への随時取り替え 不要な照明の消灯 不要な電力消費抑制 (未使用時のプリンター, 外出時のPC) クールビズ・ウォームビズの励行	エアコン使用時 常時実行 随時導入 通年実行					営業部
	ガソリン使用量 エコドライブの励行 ・アイドリングストップ ・急発進、急停車の防止等 ・走行ルート、配車計画の合理化 ・不要な荷物の積載禁止 エコカーへの随時入れ替え 月に1回、車両点検の実施	通年実行					安全運転管理者
産業廃棄物の削減・再利用・再資源化	電子機械の利用によるペーパーレス化 裏紙利用、両面印刷推進 リサイクル可能な紙類の収集 ・シュレッダーの活用 ・雑紙の分別による一般廃棄物の低減 資材の在庫管理 コア箱の保管管理	通年実行				各部	
水使用量の削減	水を出したままにしない 水漏れ点検の実施	通年実行				総務部	
自らの改善 のサ ー ビ	環境に配慮した工法の提案	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習会に積極的に参加する エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案 現場発生材の積極的な利活用(軟弱土の再利用)	通年実行				設計部
	会社周辺の清掃	月に1回、社屋の清掃を行う	通年実行				測量補償部
	地域活動への参加	外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策(イベント)に協力・参加する	通年実行				地質調査部
緊急事態への対応	AED(心臓救命装置)使用訓練 心肺蘇生(人工呼吸)等の訓練 避難訓練の実施 消火器の使い方、保管場所の確認 災害時連絡体制の整備 防災備蓄用品、非常用トイレの順次導入	年に1回				安全衛生管理者	

日常的に行っている活動

管理	消防設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認 熱感知器の確認 ※ 有資格者による総合・定期点検_年2回(㈱アイデンに依頼(総合点検_年1回実施後、報告書を消防署へ提出))					総務部 (株)セコム (株)アイデン
	フロソ定期点検	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン(株)に依頼					総務部
	社員への周知徹底意識改革	ごみの排出量の報告 一年分の活動実績の報告 環境活動を促すポスター等の掲示					EA21事務局



CHECK

7. 環境活動の取組結果・評価

今期の環境活動の取り組み状況確認・評価と次年度の取り組み内容について会議を行いました。

- 1) 評価者：代表取締役 佐々木知徳
- 2) 出席者：環境管理責任者、E A 2 1 事務局
- 3) 提出資料：環境への負荷の自己チェック表、環境への取り組みの自己チェック表、2022 環境レポート
- 4) 各項目ごとの評価と見直し、それを踏まえた次年度の取り組み内容



電力

《評価と見直し》

直近3年間の推移は
 2020年度排出36,763kg-CO₂
 2021年度排出33,052kg-CO₂
 2022年度排出26,458kg-CO₂
 となり、2020年度より28%のCO₂排出量の削減となった。
 地球温暖化の影響か、近年東北も関東に劣らず最高気温が高くクールビズしていても熱中症対策の観点から夏場のエアコン使用は欠かせません。寒い日が続きますが冬場はウォームビズを徹底し、節電したことが結果として出たと思います。

《次年度の取り組み内容》

引き続き業務の効率化を図るとともに、常に働きやすい環境への改善と維持する中で電力使用量の削減に取り組んでいきます。

CO₂ 排出量(kg-CO₂)の推移
目標達成!!
28%削減!



ガソリン

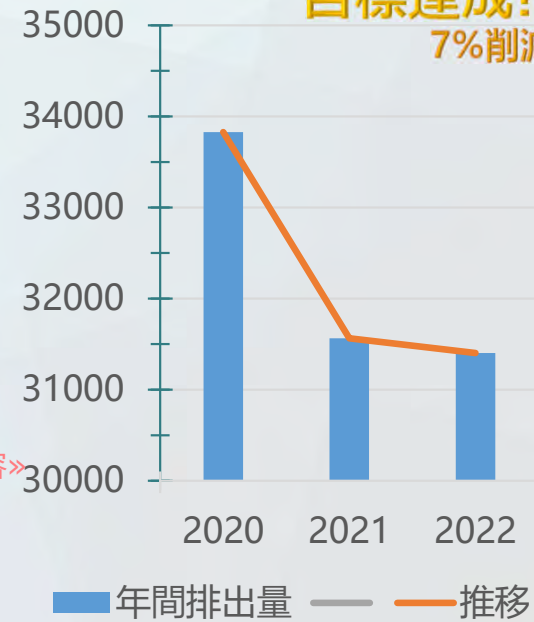
《評価と見直し》

直近3年間の推移は
 2020年度排出33,828kg-CO₂
 2021年度排出31,562kg-CO₂
 2022年度排出31,401kg-CO₂
 となり、2020年度より7%のCO₂排出量の削減となった。
 各車エコドライブ宣言を掲示しひとりひとりアイドリングストップに努めています。

《次年度の取り組み内容》

安全に配慮して作業現場への効率的なルートを探索して環境負荷の削減に努めていきます。

CO₂ 排出量(kg-CO₂)の推移
目標達成!!
7%削減!





CHECK

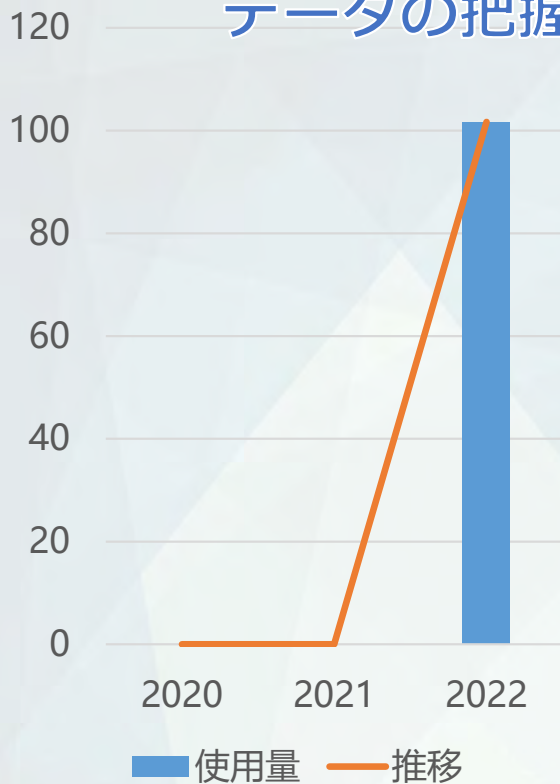
軽油

《評価と見直し》

2020年度、2021年度共に使用量0m³と実績がない為、データの把握といたします。
 2022年度排出量101.7kg-CO₂発生したのは、EA21取得を目指し環境整備を実施。土捨て場の整地作業を実施したことによる発生となります。通常業務においては軽油は発生しない項目となります。

CO₂ 排出量(kg-CO₂)の推移

データの把握



灯油

《評価と見直し》

直近3年間の推移は
 2020年度排出量458.33kg-CO₂
 2021年度排出量237.57kg-CO₂
 2022年度排出量326.54kg-CO₂となり、2020年度より28%の削減となった。
 土質調査を行う試験室での使用となります。
 使用量削減を意識して取り組んだ結果目標達成となりました。

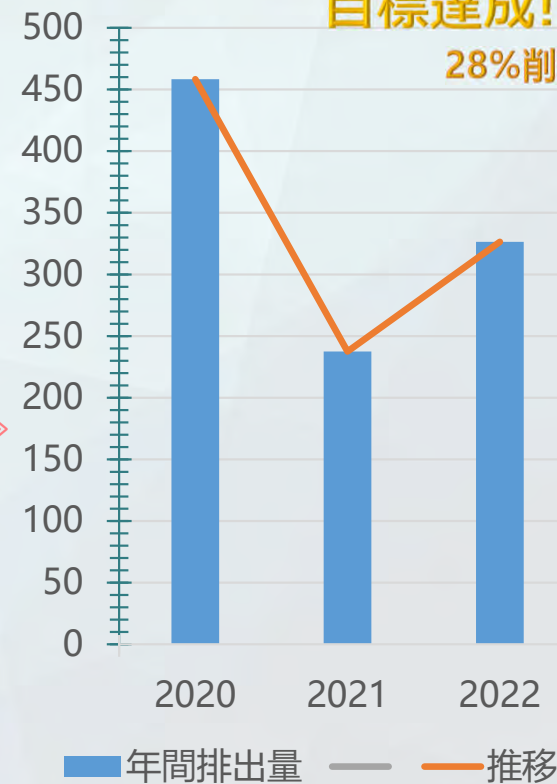
《次年度の取り組み内容》

引き続きウォームピズを徹底し灯油使用量削減できるよう全社員で努めます。

CO₂ 排出量(kg-CO₂)の推移

目標達成!!

28%削減!





CHECK

水使用量

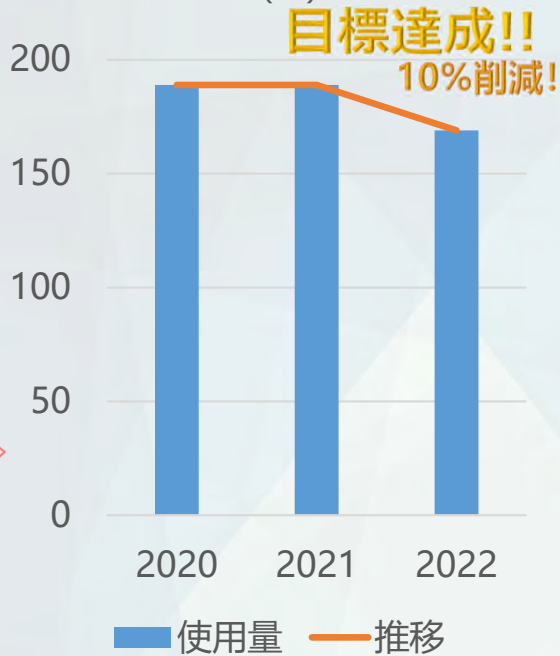
《評価と見直し》

直近3年間の推移は
 2020年度使用量189m³
 2021年度使用量189m³
 2022年度使用量169m³
 となり、2020年度より10%の
 水の使用量の削減となった。
 社員一人一人の節水への積み重
 ねの結果が、目標値クリアに繋
 がりました。

《次年度の取り組み内容》

引き続き節水意識を高め
 水使用量削減に努めます

水使用量(m³)の推移



液化石油ガス(LPG)

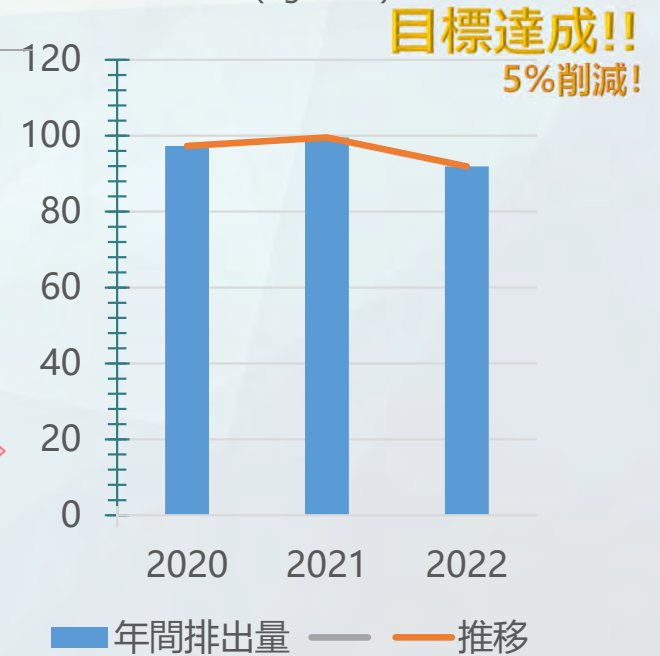
《評価と見直し》

直近3年間の推移は
 2020年度排出量291.9kg-CO₂
 2021年度排出量298.65kg-CO₂
 2022年度排出量275.71kg-CO₂
 となり、2020年度より5%の削減
 となった。

《次年度の取り組み内容》

一定量の使用はや無得ないが、
 削減に向け継続して実行する。

CO₂ 排出量(kg-CO₂)の推移



その他の活動

- ・ 月に一度の社屋周辺の環境整備の実施
- ・ 社屋から旧社屋周辺の環境整備を4月に行い、地域の環境活動へ6月と10月に参加した
- ・ 救命救急講習を5月に実施
- ・ SDGSの取り組みとして「古着deワクチン」「水と森の低炭素社会支援プロジェクト_岩手県3件」行った
- ・ 月イチ開催の所属長会議時・各部ごとの会議時に環境活動について、周知徹底・意識改革を目的とした教育訓練を行った。



CHECK

一般廃棄物・産業廃棄物

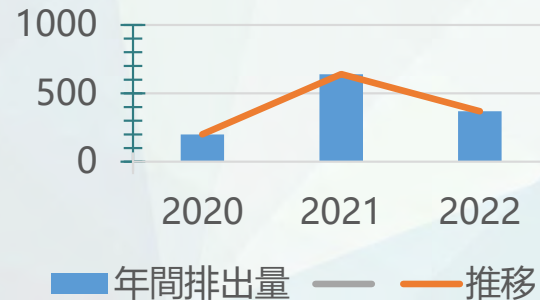
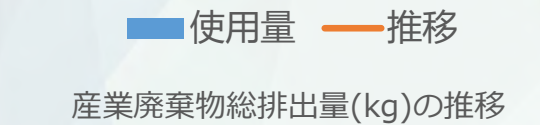
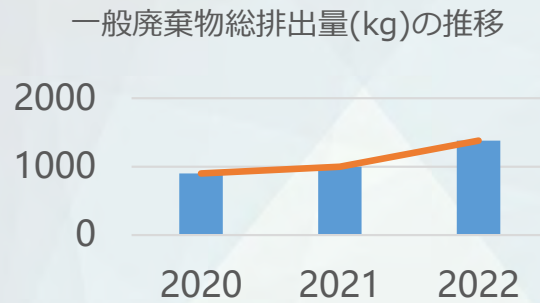
《評価と見直し》

直近3年間の推移は
 2020年度排出量1,100kg
 2021年度排出量1,640kg
 2022年度排出量1,750kg
 となり、2020年度より一般廃棄物においては480kgの排出量の増加、産業廃棄物においては170kgの増加となり、2022年度は目標未達という結果となりました。WEB会議や電子決裁システム等でペーパーレスを推進し、目標達成のために取り組みましたが、EA21取得を目指すとともに環境への意識改善シフトに伴い社屋の片づけを実施し排出量が増加しました。

《次年度の取り組み内容》

次年度以降は、「会議のペーパーレス化」と「紙使用量の削減」を継続するとともに、「テレワーク率の向上」を実施し、紙使用量削減を目指すとともに、分別作業を強化し、リユースリサイクルへつなげると共に発生制御に努めます

目標未達成



CO2 総排出量

《評価と見直し》

直近3年間の推移は
 2020年度総排出量71,342kg-CO2
 2021年度総排出量65,151kg-CO2
 2022年度総排出量58,564kg-CO2
 2022年度におけるカーボンオフセット量は8,000kg-CO2となりました。各目標値における達成状況は未達のものもあったが、今期総排出量は50,564kg-CO2となり2020年度より29%の削減となった。

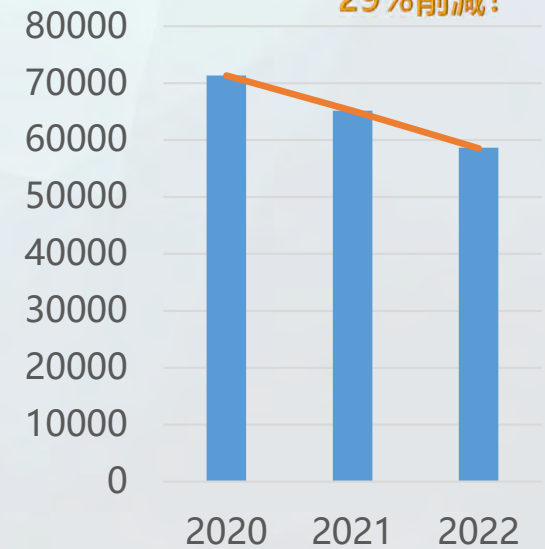
《次年度の取り組み内容》

自らの温室効果ガスの排出量を認識し、これを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、温室効果ガスの排出削減・吸収量等「クレジット」活用しCO2総排出量削減に取り組みたい。

目標達成!!

CO2 総排出量(kg-CO2)の推移

29%削減!



■ 使用量 — 推移



CHECK

8. 環境関連法規などの遵守状況

遵守状況の確認

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、全て適合・遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規等に関する違反・起訴等ありません。

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃掃法・廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
浄化槽法	年1回指定検査機関による定期検査の実施、その結果を確認 2か月ごとに専門業者による保守点検の実施、その結果を確認 年1回専門業者による清掃の実施、その結果を確認	遵守
消防法	消火設備、警備設備等の設置及び維持義務 ※ 有資格者による消防設備点検を年2回実施 (総合点検_年1回実施後、消防署へ点検結果を報告)	遵守
家電リサイクル法	特定家電の適切な事業者(家電販売店)への引き渡し	廃棄実績なし
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適切な事業者(引き取り登録事業者)への引き渡し	廃棄実績なし
フロン排出・抑制法	フロン使用機器の廃棄時の適正処理、フロンガス漏れの防止と点検(有資格者による定期点検の実施、四半期ごとの簡易点検)、定期的にフィルター掃除	遵守

【 CHECK 】

9. 環境活動の実績

9-1. 環境経営目標の達成状況

項目	単位	基準年度_2020.4.1~2021.3.31		当年度_2022.4.1~2023.3.31				目標達成状況	
		A		あ		い		い/あ	※2
		実績	CO2排出量 (kg-CO2)	実績	CO2排出量 (kg-CO2)	目標値	基準年比 Δ 2%	CO2排出量 (kg-CO2)	達成率
二酸化炭素排出量の削減	CO2 総排出量		71,342	50,564.3			69,915	138.3%	○
	電力1_東北電力	kwh	22,323.0	11,787	20,532.0	9,383.1	11,551	123.1%	○
	電力2_低圧_東北電力	kwh	44,642.0	23,571	35,092.0	16,037.0	23,100	144.0%	○
	電力3_盛岡_東北電力	kwh	2,663.0	1,406	2,273.0	1,038.8	1,378	132.7%	○
	ガソリン	L	14,581.2	33,828	13,535.2	31,401.5	33,152	105.6%	○
	軽油	L	0.0	0	39.4	101.7	0	-	-
	灯油	L	184.1	458	131.1	326.5	449	137.5%	○
	液化石油ガス(LPG)	kg	97.3	292	91.9	275.7	286	103.8%	○
	カーボンオフセット	kg				-8,000			
産業廃棄物の削減・再利用・再資源化	可燃物	kg	120.0		1,380.0		117.6	8.5%	×
	リサイクル	kg	780.0				※1	-	-
	産業廃棄物総排出量	kg	200.0		370.0		196.0	53.0%	×
	中間処理量	kg	0.0		0.0		-	-	-
	うち再資源化量	kg	0.0		0.0		-	-	-
	最終処分(埋立)量	kg	200.0		370.0		-	-	-
水削減	水使用量	m ³	189.0		169.0		187.1	111%	○
自らの改善	環境配慮	-	環境効果の高い資材や工法の情報収集を積極的に行い、エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案を行う					実施	○
	会社周辺の清掃	1回/月	社屋周辺の清掃を行う					実施	○
	地域貢献活動	2回/年	ダム周辺の清掃や植樹など地域活動に参加する					実施	○
管理	フロム定期点検	4回/年	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン(株)に依頼					実施	○
	消防設備点検	2回/年	※ 有資格者による総合・定期点検_年2回_(株)アイデンに依頼 (総合点検_年1回実施後、報告書を消防署へ提出)					実施	○

※1 リサイクル排出量(廃紙、シュレッダー、ダンボール、雑誌、新聞、空き缶)に関しては目標を定めないものとする

※2 ○100%~_目標達成, Δ 99%~80%_目標の達成に及ばないが、経過観察の必要あり, ×80%未満_目標達成できていない、是正・予防処置が必要である

【CHECK】

9. 環境活動の実績

9-2. 環境活動計画の達成状況

定期的な評価(上半期/全期間)

取組目標	活動内容	活動計画				担当	評価結果
		4~6	7~9	10~12	1~3		
二酸化炭素排出量の削減	電力量 エアコンの設定温度管理_夏季28℃, 冬季20℃ サーキュレータを効果的に活用し空気循環 LED照明への随時取り替え 不要な照明の消灯 不要な電力消費抑制 (未使用時のプリンター, 外出時のPC) クールビズ・ウォームビズの励行	エアコン使用時 常時実行 随時導入 通年実行				営業部	○ ○ ○ ○ ○ ○
	ガソリン使用量 エコドライブの励行 ・アイドリングストップ ・急発進、急停車の防止等 ・走行ルート、配車計画の合理化 ・不要な荷物の積載禁止 エコカーへの随時入れ替え 月に1回、車両点検の実施	通年実行				安全運転管理者	○ ○ ○ ○ ○ ○
産業廃棄物の削減・再利用・再資源化	電子機械の利用によるペーパーレス化 裏紙利用、両面印刷推進 リサイクル可能な紙類の収集 ・シュレッダーの活用 ・雑紙の分別による一般廃棄物の低減 資材の在庫管理 コア箱の保管管理	通年実行				各部	○ ○ ○ ○ ○ ○
水使用量の削減	水を出したままにしない 水漏れ点検の実施	通年実行				総務部	○ ○
自らの改善 自らの改善 自らの改善	環境に配慮した工法の提案 設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習会に積極的に参加する エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案 現場発生材の積極的な利活用(軟弱土の再利用)	通年実行				設計部	○ ○ ○
	会社周辺の清掃 月に1回、社屋の清掃を行う	通年実行				測量補償部	○
	地域活動への参加 外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策(イベント)に協力・参加する	通年実行				地質調査部	○
緊急事態への対応	AED(心臓救命装置)使用訓練 心肺蘇生(人工呼吸)等の訓練 避難訓練の実施 消火器の使い方、保管場所の確認 災害時連絡体制の整備 防災備蓄用品、非常用トイレの順次導入	年に1回				安全衛生管理者	○

日常的に行っている活動

管理	消防設備点検 消火器の使用方法・耐用年数の確認 熱感知器の確認 ※ 有資格者による総合・定期点検_年2回_㈱アイデンに依頼(総合点検_年1回実施後、報告書を消防署へ提出)					総務部 (株)セコム (株)アイデン	○ ○ ○
	フロソ定期点検 四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン㈱に依頼					総務部	○
	社員への周知徹底 意識改革 ごみの排出量の報告 一年分の活動実績の報告 環境活動を促すポスター等の掲示					EA21事務局	○



ACT

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

○：できている
 △：より良い改善を望む
 ×：改善が必要

環境経営システムが有効に機能しているか 総評： △

- 1 PDCAサイクルはうまく回っているか 評価： ○
- 2 実施体制がきちんと機能しているか 評価： ○
- 3 目標の立て方は適切か 評価： ○
- 4 環境上の緊急事態への準備及び対応はできているか 評価： ○
- 5 取組結果を適切に評価し、次につなげているか 評価： ○
- 6 全員で取り組んでいるか 評価： △

環境への取り組みは適切に実施されているか 総評： △

- 1 環境経営方針で誓約したことが実行されているか 評価： ○
- 2 教育・周知徹底は適切に実施されているか 評価： ○
- 3 環境目標は適切か、環境経営計画は適切に実施されたか 評価： ○
- 4 是正処置は適切に実施されたか 評価： ○
- 5 全員の協力が得られているか 評価： △

見直し項目	評価	改善及び見直し指示
①環境経営方針	うまく機能している	引き続き継続する
②環境経営目標	うまく機能している	全員の取組・協力体制に今後より良い改善を望みます
③実施体制	新入社員等により見直し済み	引き続き継続する

総括	可燃物・産業廃棄物の排出において目標値を下回ったが、取得に向けた上での廃棄の為、是正処置の必要性は
	無いと判断した。全員参加に課題はあるが環境に対する意識をより一層高く保ち、社員一丸となって今後も取り
	組んでいく。

2023年7月29日
 (株)総合土木コンサルタンツ
 代表取締役 佐々木知徳

1.1. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1.1-1. 2023年度環境経営目標

項目	単位	基準年度実績		基準年比 3% 削減	
		2020.4.1～2021.3.31		2023.4.1～2024.3.31	
		実績	CO2排出量		CO2排出量
二酸化炭素排出量の削減	CO2 総排出量		71,342		69,202
	電力1_東北電力	kwh	22,323.0	11,787	11,433
	電力2_低圧_東北電力	kwh	44,642.0	23,571	22,864
	電力3_盛岡_東北電力	kwh	2,663.0	1,406	1,364
	ガソリン	L	14,581.2	33,828	32,813
	軽油	L	0.0	0	0
	灯油	L	184.1	458	445
	液化石油ガス(LPG)	kg	97.3	292	283
再利用・再資源化	可燃物	kg	120.0		116.4
	リサイクル	kg	780.0		※1
	産業廃棄物総排出量	kg	200.0		194.0
	中間処理量	kg	0.0		-
	うち再資源化量	kg	0.0		-
最終処分(埋立)量	kg	200.0		-	
水削減	水使用量	m ³	189.0		183.3
自らの改善	環境配慮	-	環境効果の高い資材や工法の情報収集を積極的に行い、エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案を行う		
	会社周辺の清掃	1回/月	社屋周辺の清掃を行う		
	地域貢献活動	2回/年	本社周辺のごみ拾いの実施、ダム周辺の清掃や植樹など地域活動に参加する		
管理	フロン点検	4回/年	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン(株)に依頼		
	消防設備点検	2回/年	※ 有資格者による総合・定期点検_年2回_(株)アイデンに依頼 (総合点検_年1回実施後、報告書を消防署へ提出)		

※1 リサイクル排出量(廃紙、シュレッダー、ダンボール、雑誌、新聞、空き缶)に関しては目標を定めないものとする

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、環境省公表の令和2年東北電力0.528(kg-CO2/kwh)実績にて算出

1.1. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1.1-2_2023年度環境経営計画

取組目標		活動内容	活動計画				担当
			4~6	7~9	10~12	1~3	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	エアコンの設定温度管理_夏季28℃, 冬季20℃ サーキュレータを効果的に活用し空気循環 LED照明への随時取り替え 不要な照明の消灯 不要な電力消費抑制 (未使用時のプリンター, 外出時のPC) クールビズ・ウォームビズの励行	エアコン使用時 常時実行 随時導入 通年実行				営業部
	ガソリン使用量	エコドライブの励行 ・アイドリングストップ ・急発進、急停車の防止等 ・走行ルート、配車計画の合理化 ・不要な荷物の積載禁止 エコカーへの随時入れ替え 月に1回、車両点検の実施	通年実行				安全運転管理者
産業廃棄物の削減・再利用・再資源化		電子機械の利用によるペーパーレス化 裏紙利用、両面印刷推進 リサイクル可能な紙類の収集 ・シュレッダーの活用 ・雑紙の分別による一般廃棄物の低減 資材の在庫管理 コア箱の保管管理	通年実行				各部
水使用量の削減		水を出したままにしない 水漏れ点検の実施	通年実行				総務部
自らの改善	環境に配慮した工法の提案	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習会に積極的に参加する エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案 現場発生材の積極的な利活用(軟弱土の再利用)	通年実行				設計部
	会社周辺の清掃 地域活動への参加	月に1回、社屋の清掃を行う 外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策(イベント)に協力・参加する	通年実行 通年実行				測量補償部 地質調査部
緊急事態への対応		AED(心臓救命装置)使用訓練 心肺蘇生(人工呼吸)等の訓練 避難訓練の実施 消火器の使い方、保管場所の確認 災害時連絡体制の整備 防災備蓄用品、非常用トイレの順次導入	年に1回				安全衛生管理者
日常的に行っている活動							
管理	消防設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認 熱感知器の確認 ※ 有資格者による総合・定期点検_年2回(㈱アイデンに依頼(総合点検_年1回実施後、報告書を消防署へ提出)					総務部 (株)セコム (株)アイデン
	フロア定期点検	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン(株)に依頼					総務部
	社員への周知徹底 意識改革	ごみの排出量の報告 一年分の活動実績の報告 環境活動を促すポスター等の掲示					EA21事務局